

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	諏訪地域の子ども支援のためのネットワークづくり事業		
事業主体 (連絡先)	諏訪圏域子ども応援プラットフォーム運営委員会 事務局：すわ子ども文化ステーション 0266-58-3439		
事業区分	地域協働の推進に関する事業		
事業タイプ	ソフト事業		
総事業費	650,506 円 (うち支援金：		520,000 円)

事業内容

1、子ども・子育て支援カタログの作成

諏訪地域で子ども・子育て支援を行なっている団体を紹介するカタログを作成した。子育て中の保護者の悩みなどを解消する手助けするとともに、子どもたちに、「居場所」や「子ども食堂」の情報を提供。また、作成の過程でプラットフォームへの参加団体を増やし、企業への協賛を募集することで諏訪圏域における多様な主体によるネットワークの構築を図った。

2、ホームページの作成

子ども・子ども支援カタログと連動したホームページを作成、より多くの人に子ども・子育て支援の情報を伝える仕組みをつくった。



【居場所カタログ】

【目標・ねらい】

- ①子育ての悩み解消
- ②子どもへの情報提供
- ③市民団体のネットワーク構築
- ④企業とのネットワーク構築

事業効果

○子育ての悩み解消・子どもへの情報提供

カタログ・ホームページの作成により、子育て中の悩みを相談する場所の提供や子どもたちに居場所の情報を届けることができるようになった。

○市民団体・企業のネットワークの構築

子ども・子育て支援カタログ作成、ホームページの作成により、新たなるプラットフォームへの参加団体・参加者が増加し、諏訪圏域でのネットワークを強化することができた。

○企業とのネットワークの構築

自己資金は企業の協賛金を充てた。企業とのネットワークが構築された。

※自己評価【 A 】

【理由】カタログづくりを通じて、子ども支援を実施している団体、これまで弱かった民間企業との繋がりが新たに構築され、諏訪圏域でのネットワークが強化された。

今後の取り組み

完成したホームページの活用、カタログづくりを通して強化されたネットワークを活用し、引き続き「信州こどもカフェ」の普及・啓発に努めるとともに、プラットフォームへの参加団体を増やし、諏訪圏域に子どもの安心できる「居場所」の増加を目指す。また、居場所が増えた段階でカタログの改訂版を作成する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある